

2018.10.28 総会で可決

1. 福祉文化実践学会賞とは、①本学会の会員、団体会員が取り組んだ福祉文化実践活動等で、②会員の推薦のあった職場、地域、学園での成果を対象に、③選考の上、与える賞である。
2. 選考対象  
選考対象は、①本学会の会員、団体会員の行った実践活動、②前年度までに発行された学会誌『福祉文化研究』、本学会 HP、メールマガジン等に掲載された論文や実践報告、その他研究教育活動等の成果物、③選考委員がとくに推薦した実践活動等とする。
3. 応募方法  
①福祉文化実践等に取り組んでいる本学会の会員、団体会員は、自薦あるいは他薦により応募することができる。  
②応募方法は、福祉文化実践学会賞「応募用紙」（本学会 HP からダウンロード）に必要事項をわかりやすく記入し、日本福祉文化学会事務局長あてメールで送付する。
4. 受賞者の人数は、当年度あたり 1 名、あるいは 1 グループ、あるいは 1 団体とする。
5. 選考委員会は、本学会の掲げる「福祉文化研究のめざす視点」（学会パンフレット、参考資料）を当分の間の参考基準に、応募のあった実践のなかで特に優れていると思われる取り組みを、受賞候補案として 1 件選定する。
6. 選考委員会の構成、募集方法、選考方法等は以下の通りとする。
  - ①選考委員会の構成  
選考委員会委員長は副会長（1 名）とする。他に、『福祉文化研究』編集委員長、企画委員会委員長、研究委員会委員長、広報委員長、総務委員長、事務局長 の 7 名とする。
  - ②選考委員会は、事務局長のもとに送付された「応募用紙」（別紙 1）を、推薦委員に送付する。選考委員長のもとでこれを審議し、もっとも適切とみなされる受賞候補者案を一本にしぼる。満場一致に至らない場合、最終的に多数決とする。
  - ③応募に適当なものがない場合は、当該年度は「候補者なし」とする。
  - ④選考結果は、事務局長が会長に連絡する。
  - ⑤選考委員会は必要に応じ、「選考委員会運営内規」を策定する。
7. 会長は、理事会において選考委員会案を提案・審議し、受賞予定者を決定する。会長は受賞予定者に受賞の諾否の意思を確認したうえ、受賞者とする。
8. 受賞者には賞状、および副賞として 5 万円（税抜き）の金品を授与する。
9. 授賞式は、総会の席上で行う。その際、1 名分の受賞式参加の交通費 5 万円（税抜き）を上限に支給することができる。

10. 受賞者は、受賞の対象となった実践の経過、内容、成果等について『福祉文化研究』『福祉文化通信』、メールマガジン等に寄稿し、積極的に大会等で成果発表を行うこと、加えて受賞者は「本学会の広告塔」として会員獲得で特段の努力が期待される。
11. 本規定は理事会の議を経て変更することができる。

付則 本規定は2005年1月30日より施行される。

改正 2018年11月1日より施行する。

#### 参考資料：福祉文化研究の目指すもの

わが国の社会福祉がさまざまな問題を抱えていることは誰もが認めるところです。福祉文化研究は、福祉の改善・改革を「文化」の視点から検討することを目指しています。1989年に設立されて以来、日本福祉文化学会は「福祉の文化化」と「文化の福祉化」という言葉を掲げて、「福祉」と「文化」の対話をテーマとして理論的また実践的な研究を積み上げてきました。

「文化」という用語は単純なものではなく、異なる意味を含んだ多義的な言葉です。それはまず、人間社会のある領域の固有な生活様式を意味しています。この意味での「福祉文化」は福祉領域に典型的にみられる考え方や行動の特徴のことです。一般社会の文化と福祉文化を比較検討し、福祉領域における文化的な偏りを見つけ出すのが一つの課題です。

「文化」はまた、人間生活に関わるさまざまな価値—学問や芸術や宗教や公共性など—を追究することでもあります。福祉領域においても知的な創造やアートの実践や相互扶助の充実など、多くの課題があります。そうした福祉領域の文化的な活動をどのように生みだし、どう発展させるかということも重要なテーマです。

日本福祉文化学会は発足以来、全国各地の福祉現場の実践家と福祉系を中心とする大学等の研究者の強固なネットワークを作ってきました。それを基盤に本学会は、福祉領域の文化的な貧しさを指摘し、その背景と原因を探っていきます。同時に、そのような現状から脱却するための理論構築と実践方法の開発を進めます。少子・超高齢化をはじめ、社会問題の複合化が進むこれからの日本社会において、文化的に豊かな福祉を創り上げ、広めていくことが、本学会が果たすべき使命であると考えています。本学会の活動に共感する多くの実践家と研究者の参加を望みます。

(日本福祉文化学会パンフレット 2018年版「はじめに」より)